

研修見学会の雑感

東京都環境計量協議会会長
鈴木幹夫



日時：平成 19 年 7 月 27 日（金）
場所：産業技術総合研究所（産総研）つくば市
計量標準総合センター
サイエンススクエアつくば

千環協の皆様、今回は首都圏環境計量協議会と千葉県環境計量協会の合同の研修見学会を企画していただきありがとうございます。
環境計量における測定物質の多様化にともない、標準物質の需要は高まってきているにもかかわらず、認証された標準物質はまだ、一部しかありません。今回、これらの標準物質がいかにして作られているかを見学でき、よい勉強になりました。

1. 計量標準総合センター

私たちが、日頃分析に使用している標準物質や精度管理のチェックに使用している環境用の組成標準物質をおこなっているところで、その作成の様子を説明していただきました。

底質などの天然物試料から調整した組成標準物質は、水質やガスと異なり、いかに均一な試料を調整するかが非常に大変そうでした。

また、その値付けをおこなうには、複数の分析方法を用いて測定し、より正確な値の確認を行っており、国際度量衡局の物質質量諮問委員会（CCQM）の下で行なわれている国際比較において非常に高い分析能力を国際的に示しているそうです。

また、標準物質の濃度の決定に滴定法が用いられていることが印象的でした。さすがに人手による滴定では有りませんが、多くの自動分析計が発展している中で、基本は変わらないと感じました。

一つの標準物質を作成するのにかかる労力を考えると早急な標準物質の開発は難しく、国際的に相互承認といったかたちで、各国が協力し多くの標準物質の供給を可能にしていきたいと思います。

2. サイエンス・スクエアつくば

常設展示施設のサイエンス・スクエアつくばを見学しました。ここには、現在はもう使用されていませんが、メートル原器やキログラム原器が展示されているほか、ロボット、レーザー、ナノチューブなどの最先端技術や、立体映像の体験ができ、大変興味深く見学させていただき、時間が足りない状況でした。

また、つくばの産総研の中には、常設展示施設として今回のサイエンス・スクエアつくばの他に地質標本館、JIS パピリオンがあります。今回は時間がなく見学できませんでしたが、地質標本館は、一度は訪れてみたいと思います。

3. シャトー・カミヤ

最も楽しみにしていた昼食会は、牛久のシャトーカミヤで行われました。浅草にある有名な「神谷バー」と同じ創業者により、明治 36 年に作られた日本では歴史のあるシャトーです。

今回は、見学コースが日頃お世話になっている産総研でしたので見学が終わるまでアルコールは厳禁（津上会長の指示？）で、暑い中研修をおこないましたので、昼食のビールがことのほかうまく感じられました。ここでのお勧めは、ワインと黒ビールです。

千葉駅に帰着後、夜の反省会（懇親会）まで参加させていただき、皆様と懇親を深めさせていただきました。

千環協の皆様とは、技術交流や情報の共有など、今後とも一緒に活動することも多くなると思いますのでよろしくお願いします。